

武豊町議会議長 福本 貴久 殿

武豊町議会議員 梶田 進

一般質問の通告について

令和2年第3回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)	答弁者
<p>1. 認知症損害賠償保険制度の設置について</p>	<p>【趣旨説明】 少子高齢化問題が顕在化して、その対応が行政課題として大きくなっています。その中で、高齢者介護問題を今後どのように取り組んでいくのか、介護施設、介護職員、安心してかかることが十分保障され、安心して老後がすごせるのか、高齢者にとって大きな関心事であります。 4月1日現在の武豊町の65歳以上の高齢者数は10,869人、高齢化率は24.9%であり、本年3月末現在の要介護認定者数は1,399人、65歳以上の高齢者介護認定は12.6%、うち75歳以上の後期高齢者要介護認定率は21.6%と、6月議会の町長諸般報告にて報告されています。 この現状から高齢者人口が多くなれば、要介護認定者が増え、その中で認知症を患う方が多くなることが予測されています。 認知症を患う方の増加は、現在でも不足している施設介護が十分保障されなくなります。その結果、自宅介護が多くなることとなります。認知症の場合、多くが徘徊などの危険があり家族などによる24時間介護の対応は非常に困難であり、事実上不可能といえます。 マスコミ報道などから徘徊による行方不明、無意識のうちに発生させる器物損壊、認知症が原因とみられる交通事故などが明らかとなっています。 これらの事故に対する損害を保障する「認知症損害賠償保険制度」の導入が多くの自治体で実施されてきております。 当町として、どのような対応を考えておられるか、以下質問します。</p> <p>【質問事項】 ①介護保険要介護認定者のうち、認知症あるいは認知症の疑いのある方は何名ほどおられますか。 ②近年、町内で認知症によると思われる事故・事件の発生件数を把握されていますか。把握されているとしたら何件ありますか。 ③現在「高齢者認知症賠償保険」に加入している、自治体数を全国、愛知県、知多地域ごとに把握されていますか。 ④大府市で発生した鉄道事故による損害賠償請求に対して、一定の条件は付いたものの、基本的には損害賠償責任が免除されました。認知症による損害賠償について、町としてどのような対応が必要であると考えておられますか。 ⑤今年8月1日、東浦町が「認知症高齢者等賠償事故補償保険」制度をスタートさせました。当町も東浦町に類する保険制度を設けるべきと考えますが、具体的にどのような対応を考えておられますか。</p>	<p>町長 副町長 部課長</p>

武豊町議会議長 福本 貴久 殿

武豊町議会議員 梶田 進

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和2年第3回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)	答 弁 者
2. 大気汚染測定局の設置について	<p>【趣旨説明】 平成27年第4回定例会において、稼働中の衣浦港3号地産業廃棄物最終処分場、建設中の中山名古屋共同火力発電所の石炭バイオマス混焼発電所(現在稼働中)、地域交流施設、建設計画中の知多南部環境組合によるゴミ焼却施設、屋内温水プール、中部電力5号機リニューアルなど公害発生源となりうる施設に資材等を運び込むため、交通量も多くなります。このようなことから、地元大足区民から、地域内の環境汚染がどのようになっているか監視できるように、公害監視用の測定局を設置していただきたいとの要望が寄せられたことから質問をしました。新たな測定局の設置などの施策について「調査・研究していく」との答弁がありました。 その後の進捗状況について以下質問します。</p> <p>【質問事項】 ①質問後の、臨港道路周辺地域の大气汚染状況の把握はされていますか。その結果はどのようになっていますか。 ②大気汚染測定局は、「住民の健康の保護及び生活環境の保全のための大気汚染防止対策や安心・安全な生活環境を維持するうえで重要なものと認識しています。 臨海部での大規模事業の供用開始時期に合わせて、公害防止協定の見直しや新たな測定局の設置などの施策につきましては調査・研究してまいります」と答弁されていますが、現状どのように進んでおり、測定局設置の必要性についてどのように判断されていますか。 二酸化窒素、PM2.5への対応について、「将来事業が始まった場合新たな測定項目等を考慮しながら、重要な安心・安全なことが住民に発信できるような施策も併せてやっっていこうということ」との答弁がありましたが、どのように調査・研究、検討されたのか、その結果はどのようになっていますか。</p>	町長 副町長 部課長